

# コミュニティ・スクールだより



## 学校運営協議会委員の笑顔が戻って来ました！

3密を避けるため、各学校の学校運営協議会も例年通りには会議を進められずでしたが、今月までに全ての学校で、委員揃っての会議を行い活発な意見が交わされました。

竜北中学校第2回学校運営協議会

7月16日(木) <CSの今後の活動について>

1回目の会議はごく少人数でしたが、徐々に委員揃っての協議。「CSとして何ができるか」と意見が交わされ、皆さんの意気込みが伝わってきました。また、「コロナ感染拡大防止を考慮し地域の方と触れ合えない分、日頃の恩返しとして地域のためにできることはないだろうか。」との生徒の意見も紹介されました。

7月の豪雨被害も身近にあり、防災に関する活動、小中連携しての活動など昨年までを振り返りいろいろなアイデアが出ました。「このような現状だからこそ、ボランティアを自らしたいと思えるような子どもたちを育てたい。」「気になる子にずっと寄り添っていきたい。」など温かい意見も出され、今できることを取り組んでいこうと一致団結しました。



氷川中学校第1回学校運営協議会

7月21日(火) <学校経営・CS活動について>

「今年度も『共育・協育・郷育』の3つの教育をスローガンに頑張りましょう」と四宮会長の挨拶で、氷川中学校コミュニティ・スクール活動がスタート。

今年度は、コロナ感染拡大防止を考慮して、例年の取組であるチャレンジショップ、ソーラン節を披露する地域の祭や敬老会、三神宮例大祭でのポニー奉納や神輿の参加も自粛。また地域の方々にお世話になって取り組む職業体験・農業体験も見合わせ、多くの活動を取り止めざるを得ない状況です。ただ、それらを中止で終わらせるのではなく、どうすればそのような体験に代わるものができるか、新しいやり方など、アイデアを出し合い、次回に持ち寄ることに。

地域との繋がりを大切に、生徒の意見を取り入れる、リモートを利用して元気を地域に発信できないかなど発想豊かに今年度も学校の課題に向けて取り組みます。

